

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公開番号】特開2012-142125(P2012-142125A)

【公開日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-029

【出願番号】特願2010-292699(P2010-292699)

【国際特許分類】

H 01 M 8/04 (2006.01)

【F I】

H 01 M 8/04 P

H 01 M 8/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月2日(2013.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水素を含有する燃料を用いて水素含有ガスを発生させる水素発生部と、  
前記水素含有ガスを用いて発電を行うセルスタックと、を備える燃料電池システムであ  
って、

前記セルスタックから出力される電圧を検出する電圧検出部と、

前記燃料電池システムが定格運転状態であるか否かを判断する運転状態判断部と、

前記運転判断部によって前記燃料電池システムが定格運転状態であると判断された場合  
に前記燃料電池システムの燃料利用率を変動させる燃料利用率変動部と、

前記燃料利用率変動部によって変動する前記燃料利用率の各値に対する前記電圧の各値  
を前記電圧検出部から取得し、当該電圧の各値を基準値と比較する比較部と、

前記比較部によって前記電圧の各値が前記基準値に対して閾値を超えて低下していると  
判断された場合に、前記定格運転状態における前記燃料利用率の上限値を所定の割合で低  
下させる燃料利用率制御部と、を備えたことを特徴とする燃料電池システム。

【請求項2】

前記セルスタックの劣化についての診断処理を実行するか否かを判断する診断開始条件  
判断部を更に備え、

前記診断開始条件判断部は、前記燃料電池システムが発電を開始してから所定時間が経  
過した場合、或いは前記燃料電池システムが熱回収をしている状態にある場合に前記診断  
処理を実行すると判断することを特徴とする請求項1記載の燃料電池システム。

【請求項3】

前記電圧検出部は、前記燃料電池システムが発電を行っている間、セルスタックから出  
力される電圧を常時検出することを特徴とする請求項1又は2記載の燃料電池システム。

【請求項4】

前記比較部は、過去の処理の実行の際に前記電圧検出部から取得した電圧の各値を前記  
基準値として記憶することを特徴とする請求項1～3のいずれか一項記載の燃料電池シス  
テム。